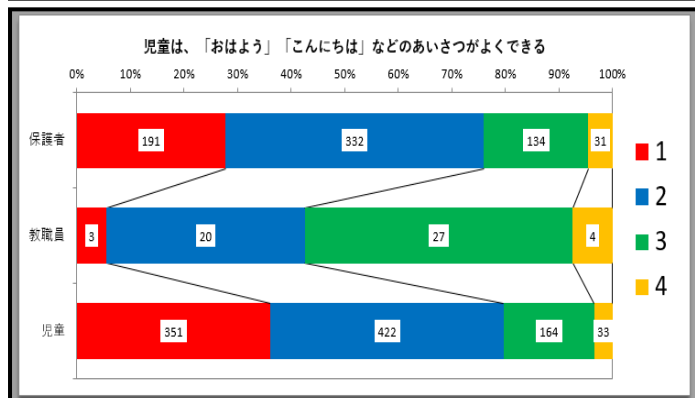
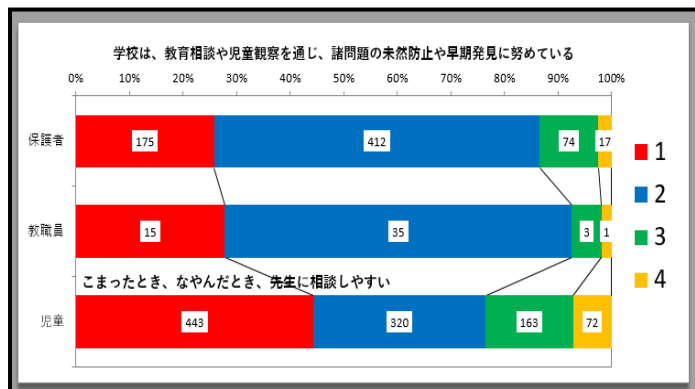
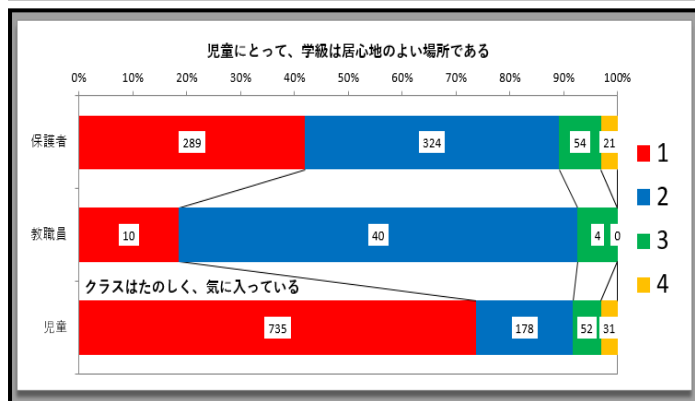
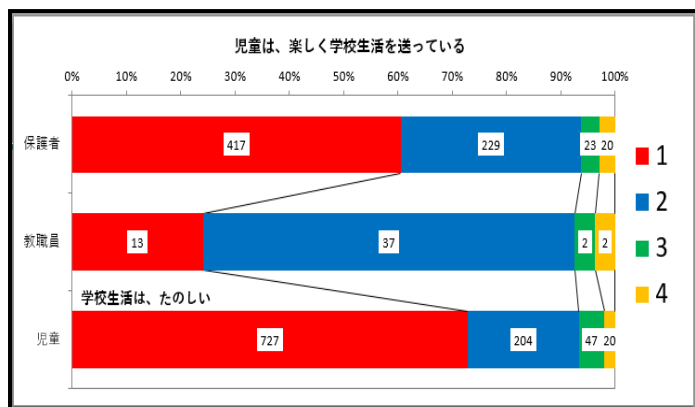


## 学校評価アンケートの結果について（お知らせ）

日頃は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。今年度もアンケートフォームを活用して学校評価アンケートを行いました。ご協力をいただきありがとうございました。集計結果をまとめましたので、お知らせします。

【グラフの見方】 アンケート内容に対し  
 1：そう思う 2：だいたいそう思う  
 3：あまりそう思わない 4：そう思わない

【データ】 回答数 児童：1001名  
 保護者：689名 教職員：54名

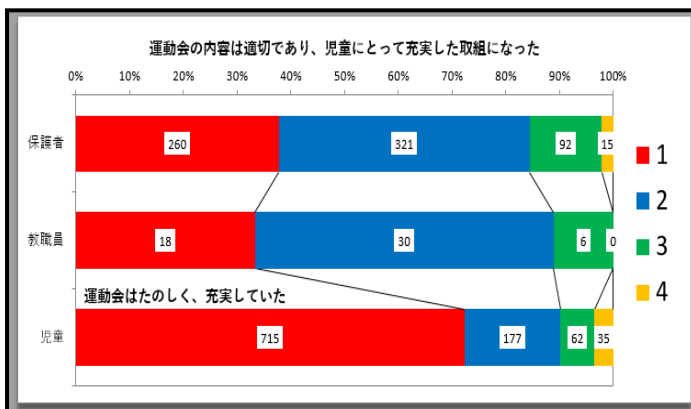
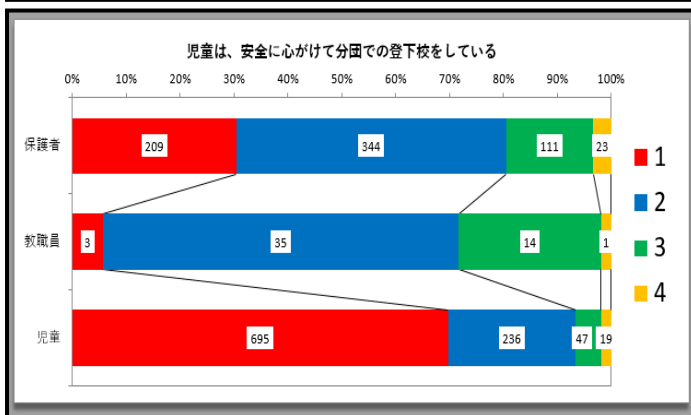
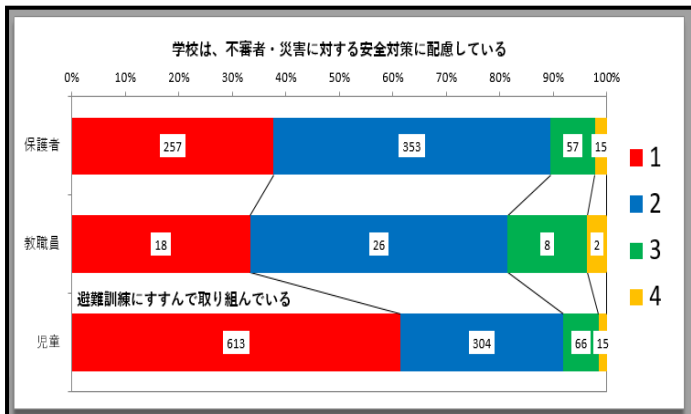
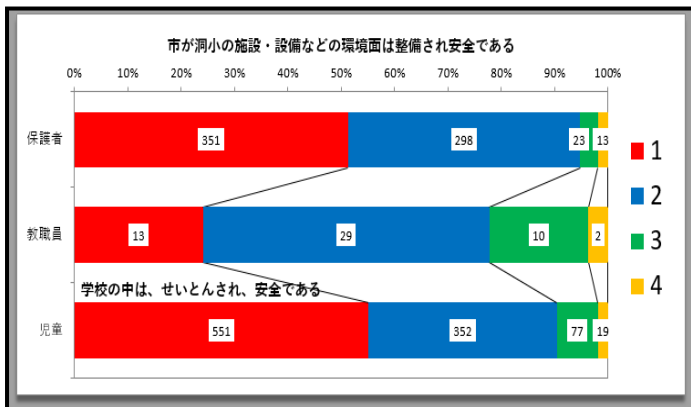
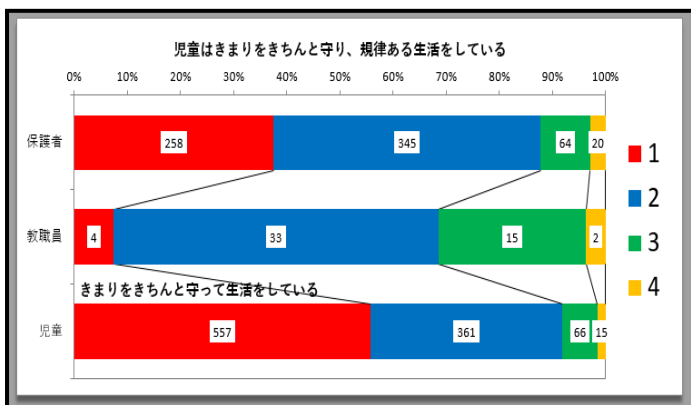


### 【学校生活】

「楽しく学校生活を送っている」、「学級が居心地のよい場所である」という設問に対して、約90%が肯定的に捉えています。しかし、「そう思わない」と回答している児童もいます。児童間の話し合いや学び合い活動を推進し、互いの価値観の違いを認め合えるような取組を工夫していくことで、児童一人一人が居場所のある居心地のよい学級・学校づくりに努めていきたいと考えます。今後も、児童が楽しさを実感できるように魅力的な学校にしていきたいと考えています。

いじめなどの諸問題の早期発見や未然防止の取組として、年3回の定期教育相談を実施し、児童理解と諸問題への対応に努めています。教職員が児童一人一人に寄り添い、親身に接することで、児童が困ったときに素直に相談できる関係を構築していくことが大切であると考えます。児童が安心して生活していけるよう努めていきます。

人と人とのつながりを大切にして進んであいさつができる児童に育てていきたいという考えのもと、あいさつ運動を推進しています。あいさつ運動として、学期ごとの「あいさつ週間」をはじめ、児童会役員・あいさつ委員、PTAと連携しながら取り組んでいます。家庭、地域、学校が一体となってあいさつをし合うことで、あいさつの輪が広がり、互いに助け合い、支え合えるようになるとよいと考えています。



学校、家庭、地域において、その場に応じたきまりや規律を守って生活していくことで、社会が成り立っていくことを発達段階に則して学んでいく必要があります。健康を維持するための「早寝・早起き・朝ごはん」等の規則正しい生活習慣、時間や人との約束事を守ること等、マナーやきまりは、あいさつと同様、継続した指導が必要です。今後も、根気よく指導していきます。

### 【環境・安全】

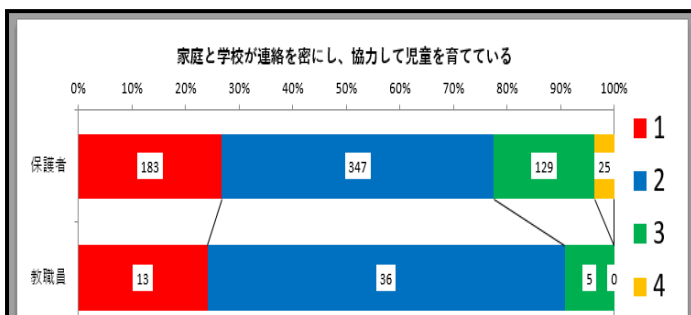
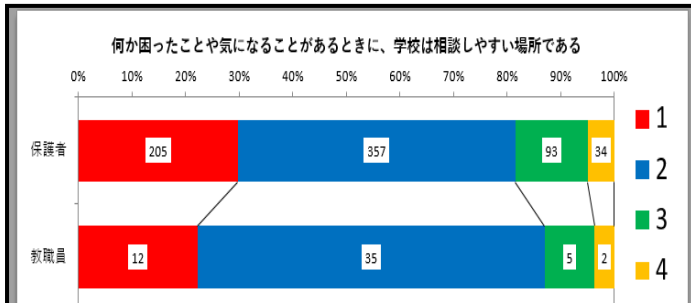
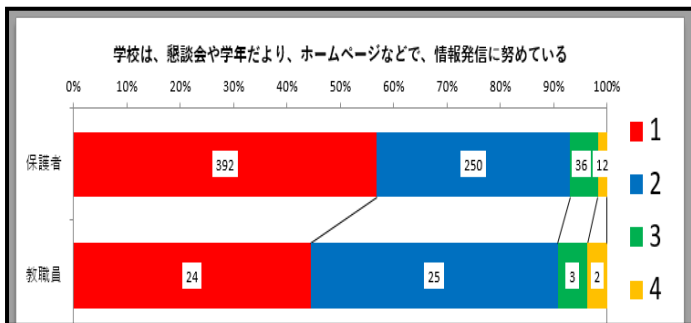
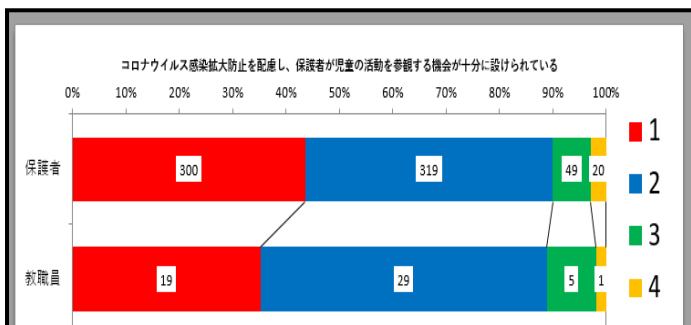
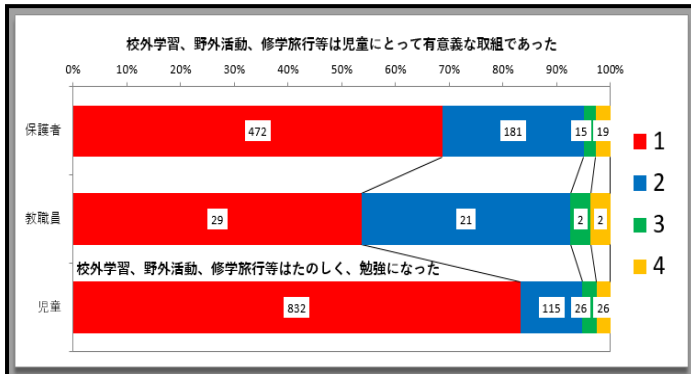
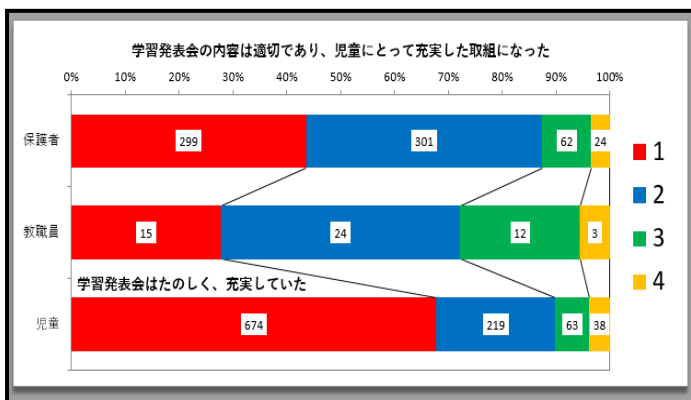
開校して15年が経過しようとしています。施設、設備は、児童を中心とした毎日の清掃活動、委員会活動を中心に環境整備に努めております。しかし、経年劣化が進み、児童、教職員が安全面で不安を感じているのも事実です。修繕が必要な箇所については、児童の安全に関わるものを最優先して対応しています。また、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止をするために、アルコール消毒の使用やこまめな手洗いの呼び掛けをしていきます。

机の下に身を隠すという地震における一次避難に対して、児童の意識は高まっています。しかし、火災時の一次避難を理解していない児童も多くいます。地震や火災、不審者対応等、自分の命を自分で守るための避難ができるよう、教職員も含めて意識を高めていきます。

交通指導員やPTA、地域のボランティア、シニアクラブの方々に支えられ、児童は大きな事故も無く安全に登下校ができています。分団で集団登下校する意義を児童一人一人が理解することで、交通安全意識はさらに高まると思います。そのためにも、学校・家庭・地域が協力して、児童が交通安全意識を高められるように努めていきます。

### 【行事・特別活動】

昨年に引き続き、運動会や学習発表会は感染拡大防止を含む安全対策を考えながら、児童ができるだけ分散して取り組めるようにしました。多くの保護者の皆様にご理解をいただき、運動会や学習発表会の進め方に対して肯定的に捉えてくださる方が、昨年に比べて10%程度増加しました。ま



た、児童、教職員ともに昨年同様の回答が得られました。今後も行事・特別活動の実施方法について、社会状況の変化に応じて改善を重ねていきたいと思っています。

今年度は野外活動、修学旅行ともに予定通り実施することができました。また、校外学習に関しては、出前授業やICT機器を用いたリモート授業に置き換えて実施することがあったものの、1～6年までの児童がジブリパークに行くことができました。今後も児童の体験的な活動の機会を確保し、実りある学習活動が進められるように努めていきます。

### 【家庭と学校の連携】

運動会や学習発表会、授業公開などに、分散して参観していただくようにすることで、学校での児童の様子を保護者の皆様に見ていただく機会をできる限り確保しました。また、情報発信に努め、ホームページの充実を図りました。アンケート結果は、昨年よりも肯定的な回答が10%以上増加しています。今後も児童の活躍する機会を見ていただく機会を工夫して設けるとともに、学年だよりやホームページなどを通して学校の様子を伝えていきたいと思っています。

「学校は相談しやすい場所である」や「家庭と学校が連絡を密にし、協力して児童を育てている」という設問に対しては、約20%の保護者の方が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答されています。

家庭と学校との連携をより密にして、協力して児童を育成していく大切さを改めて感じています。お子様のことで気になられること、教職員の指導等でお困りのことがありましたら、遠慮なく学校にご連絡ください。担任だけでなく、教頭が窓口として、お話を聞かせていただきます。児童の健全な育成のために、必要な情報は共有しながら、努めてまいります。

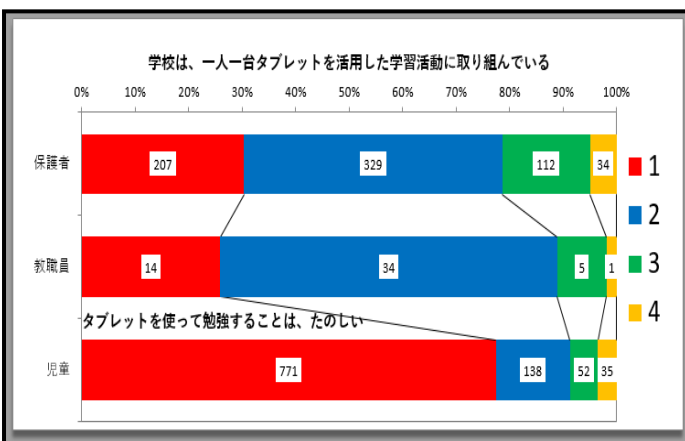
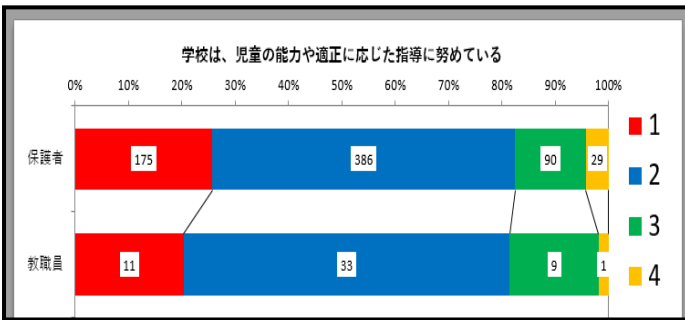
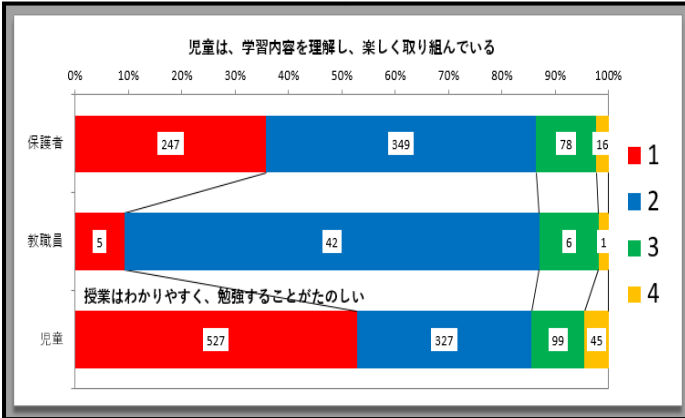
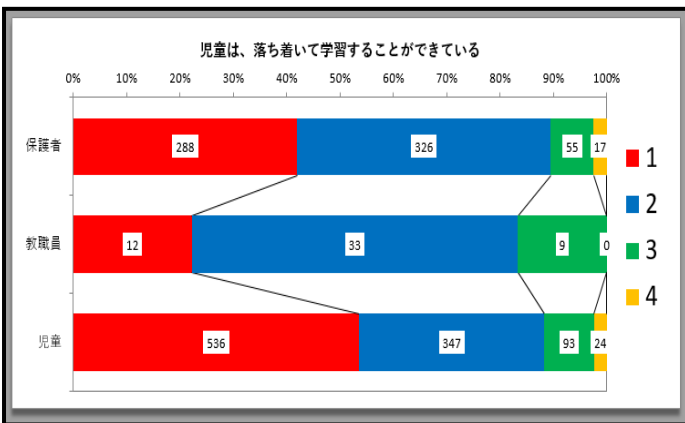
## 【学習指導】

コロナ禍における学習活動の工夫が見られ、児童が互いに関わり合う活動が増えてきました。音楽の授業で歌う場所や身体の向きを考えながら合唱を行ったり、国語や社会などの教科では、机の向きを工夫してグループ隊形で話し合い活動を行ったりする姿が見られるようになってきました。「落ち着いて学習することができる」、「学習内容を理解し、楽しく取り組んでいる」と感じている児童が昨年度に比べて5%程度増えています。

タブレットを活用した授業も進められています。児童は、タブレットに教師から配付された各教科の課題に意欲的に取り組み、提出することができるようになってきました。また、提出した課題を児童同士で情報共有して意見交換したり、資料を作成して画面を見せながら発表したりと、タブレットを活用して主体的・対話的で深い学びにつながる授業を進めています。「タブレットを使って勉強することは、たのしい」という質問に約80%の児童が「そう思う」と答えています。タブレットを操作することに抵抗を感じる児童は少なく、新しいことを素早く吸収し、順応することができていると感じます。しかし、そうでない児童がいることも確かです。タブレットに苦手意識が出ないよう個別支援に努めていきます。

タブレットを用いて学習する機会を増やしていくとともに、児童が学校生活の中で幅広く使っていくように工夫していきます。

今後も児童が楽しいと思える授業、学習内容がわかる授業の実践を心掛けていきます。



## 【記述でのご意見・ご要望等】

記述による課題や励ましなどのご意見もいただきました。ありがとうございました。

- \* 様々な取組に関する賛否両論のご意見をいただきましたが、コロナ禍であることをご理解いただけのご意見を多数いただきました。
- \* 行事、授業、生徒指導などについても多くのご意見・ご要望をいただき、ありがとうございました。これからの学校運営における貴重な資料として参考にさせていただきます。今後ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

〈問い合わせ〉長久手市立市が洞小学校 (Tel. 64-2000) 教頭 伊藤 友香